

ひよこくらぶ



「ひよこくらぶ」に遊びに来てくれてありがとうございます(^_-)-☆

ゴールデンウィークも終わり、5月も後半を迎えます。白ゆりっ子達の幼稚園生活は、春の訪れとともに、園舎内から園外へと活動の範囲を広げ、元気に幼稚園生活を送っています(笑)

白ゆりっ子達の幼稚園生活の様子は、ホームページ園長日記「笑顔」やInstagramで紹介しています。ぜひ、ご覧頂き、白ゆり幼稚園の雰囲気、白ゆりっ子達の雰囲気をお確かめ下さい(*^^*)

次回6月の「ひよこくらぶ」は…



6月15日(土) 10:00受付

札幌白ゆり幼稚園

10:30~11:30

ホームページ

Instagram

参加予約は ⇒
こちらから



☆☆☆幼児体育で育つもの☆☆☆

幼い子供ほど、広い場所のような環境を見つけると走り回り出しますよね(笑) 「ひよこくらぶ」でもそうですし、幼稚園見学に来た際にも、2歳や3歳のお子さんが白ゆりっ子達と一緒に走り回る光景を目にします。

幼児体育の基本は「走る、こと」です。走ること(有酸素運動)によって脳内ホルモンが分泌され、新しい脳細胞が作られ、学力の向上にも繋がると言われます。でも、嫌々やるとその効果は出ないので、やる気(楽しく)にさせることが肝心です。

白ゆり幼稚園の特色ある教育の一つに『体操』があります。 幼児期に身に付けたい「36」の基本動作、①平衡系動作(立つ、座る、回る、ぶら下がる、逆立ち、等々) ②移動系動作(歩く、走る、跳ぶ、登る、潜る、等々) ③操作系動作(持つ、運ぶ、押す、掴む、投げる、蹴る、等々) 毎日の園生活の中で、30分程度、これらの動きを「体操」という活動を通してバランス良く経験します。



緩めの運動が記憶力を高め、軽い運動をしながらの学習は脳に定着しやすく、激しい運動の後は、脳が冴え、新しいものを吸収しやすくなるという学説があります。さらに、幼児体育を通して育つものは、運動技能や体力だけではなく、将来に向けての「心」、や「学び」、**「人間力」の基礎**を作っているとも言われます。人間の脳力(のうの力)には、「認知能力」と「非認知能力」がありますが、様々なイノベーションが生み出される現代社会において、子供達が将来、自分の力でしっかりと人生を歩んで行くためには、「非認知能力」が大切です。

「認知能力」とは、数値化できる能力のことで、暗記や計算、言語力、指示に従うなど、わかりやすく言うと、学校で学ぶこと(勉強)のようなもので、「非認知能力」とは、目標に向かって頑張る力、他人と上手に関わる力、感情を上手にコントロールする力のような数値化できない能力で、まさしく『生きる力』です。



白ゆりっ子達の毎日の幼稚園生活は、「体操」という活動を通して、物事に対する「自信」「意欲」「粘り強さ(忍耐力)」「自律(気持ちのコントロール)」「努力の楽しさ、面白さ」を育みます。**すなわち「非認知能力」です!**

「ひよこくらぶ」は、「非認知能力」を育む第一歩と言えるでしょう! 「走る! 跳ぶ! 転がる!」ことを経験することで、柔軟性やバランス感覚、瞬発力が身に付き、同年齢の友達や幼稚園の先生と触れ合うことでコミュニケーション力、社会性の芽生えにも繋がります。月に1度の開催ですが、一年後には大きな成果となることでしょう(^_-)-☆ また、お子さんにとって、パパやママとのスキンシップは「幸せホルモン」の分泌にもなり、脳の活性化とともに「非認知能力」の育みにもなりますね(笑)